平成23年12月期

決算説明会

平成24年2月22日

大倉工業株式会社

当社の概況

社　　名	大倉工業株式会社 Okura Industrial Co., Ltd.
本社所在地	香川県丸亀市中津町1515番地
代 表 者	代表取締役社長　髙濵　和則
設　　立	昭和22年7月11日
資 本 金	86億1千9百万円
発行済株式数	61,223,056株
従 業 員 数	1,967名（連結子会社13社含む）

［平成23年12月末現在］

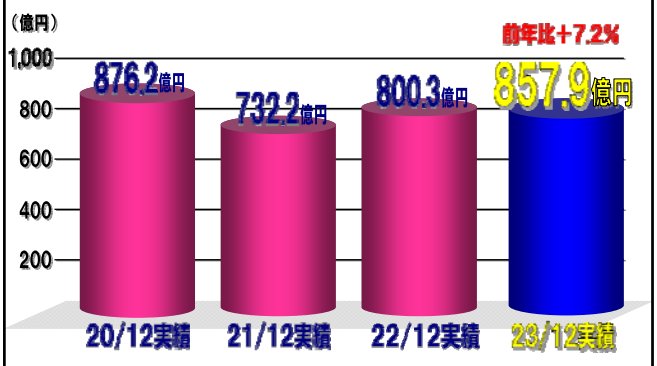
目　次

Ⅰ. 平成23年12月期決算の概要

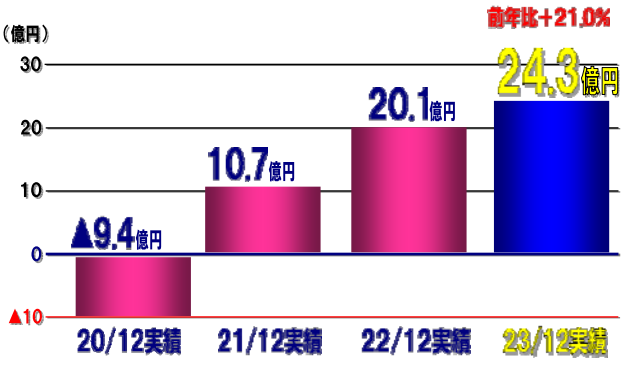
Ⅱ. 平成24年12月期の業績予想

Ⅰ. 平成23年12月期決算の概要

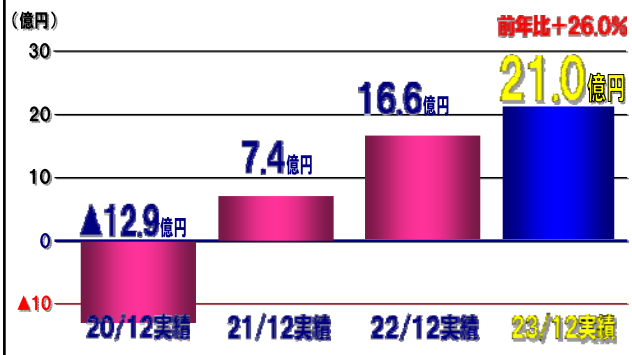
連結売上高　通期実績



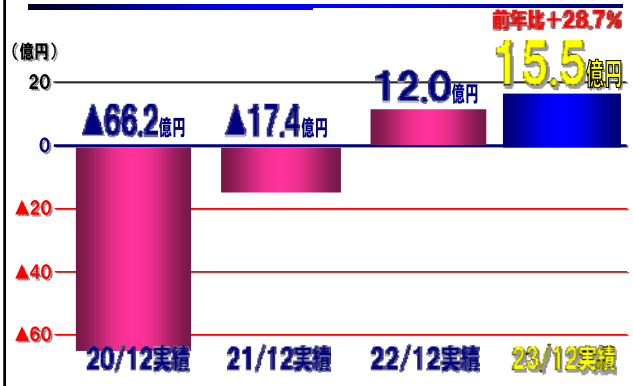
連結営業利益　通期実績



連結経常利益　通期実績



連結当期純利益　通期実績



特別損失等

	経常利益	21.0億円
【特別利益】	貸倒引当金戻入額等	2.1億円
【特別損失】	固定資産除売却損	1.5億円
	建物等除却損失引当金	0.4億円
	減損損失	4.2億円
	有価証券評価損	0.9億円
【税金等】	法人税等	2.9億円
	法人税等調整額	▲2.4億円
	当期純利益	15.5億円

特別損失等

1.貸倒引当金戻入益

実績率の低下に伴い貸倒引当金戻入益
209百万円を特別利益に計上

2.減損損失

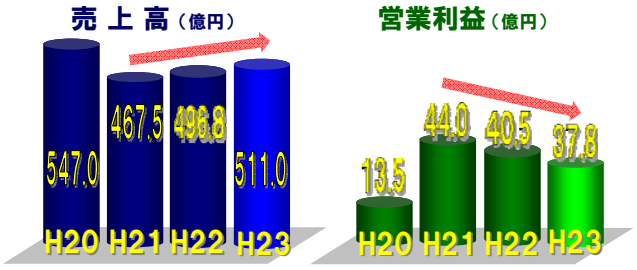
投下資本の回収が見込めない仲南工場のクリーンキャスト設備を減損処理　422百万円を特別損失に計上

3.有価証券評価損

保有していた東京電力・東北電力等の株式評価損
92百万円を特別損失に計上

セグメント別の概要

合成樹脂事業セグメント

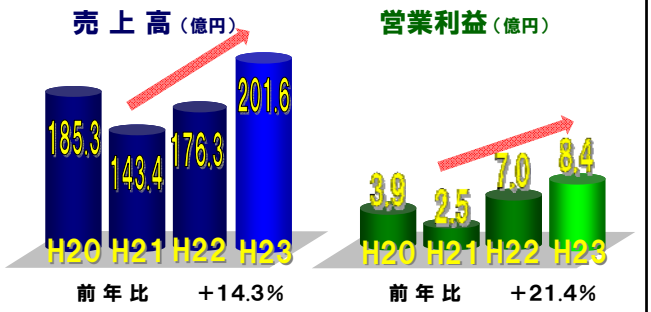


前 年 比　+2.9%
（販売数量 前年比+1.0%）

前 年 比　▲6.9%

液体輸送用リキッドパック、カップ麺向けシュリンクフィルム、農業用フィルムを中心に販売量が増加

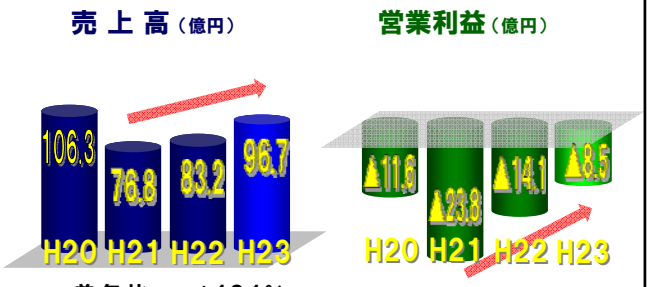
新規材料事業セグメント



前 年 比　+14.3%　　前 年 比　+21.4%

スマートフォン、タブレットPC向け光学フィルムの販売数量が増加

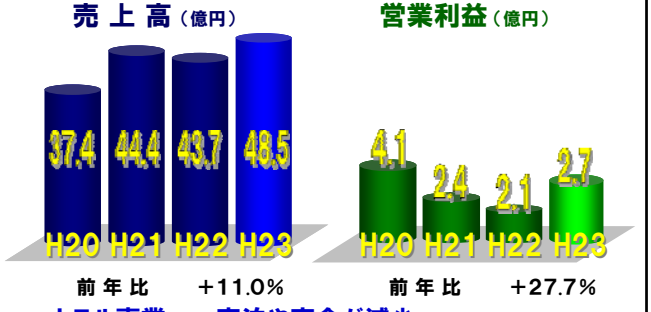
建材事業セグメント



前 年 比　+16.1%

フロア用台板の拡販や復興貢献生産もあり、パーティクルボードの販売量が増加

その他事業セグメント



前 年 比　+11.0%　　前 年 比　+27.7%

ホテル事業　：宿泊や宴会が減少
プレカット事業：金物工法への対応で売上高が増加

キャッシュ・フロー

連結キャッシュ・フロー計算書

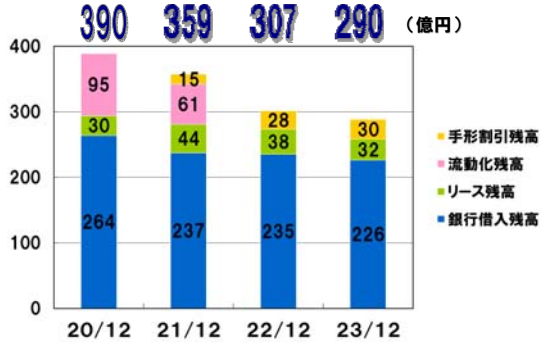
（億円）

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
現金及び現金同等物期首残高	107.2	114.1	105.4	75.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	69.9 (23.3)	63.2 (81.0)	8.5 (57.5)	55.4 (57.7)
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲53.0	▲57.0	▲29.6	▲36.8
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲9.2 (37.3)	▲14.9 (▲32.7)	▲8.6 (▲57.5)	▲16.4 (▲18.8)
現金及び現金同等物期末残高	114.1	105.4	75.5	77.4

※( )内は、債権流動化等考慮後の実質キャッシュフロー

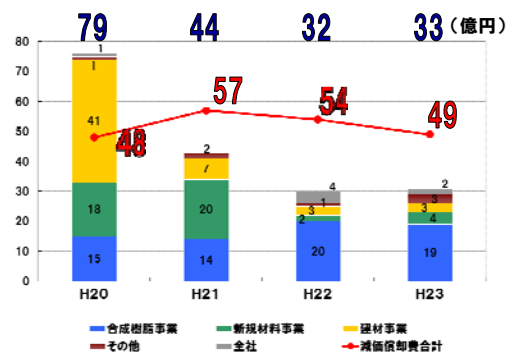
設備投資が計画を下回り、財務キャッシュ・フローのマイナスが大きくなった。

実質借入金残高（連結）



実質借入金は減少傾向

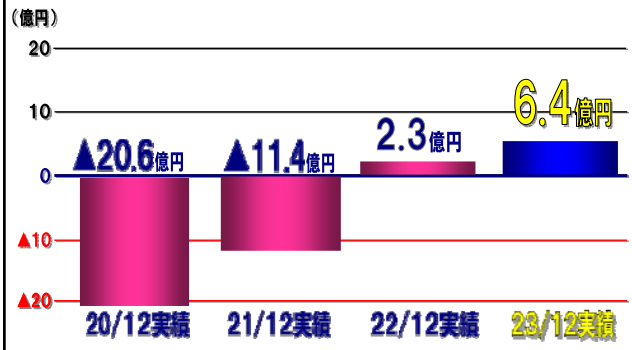
連結減価償却費及び設備投資（工事ベース）



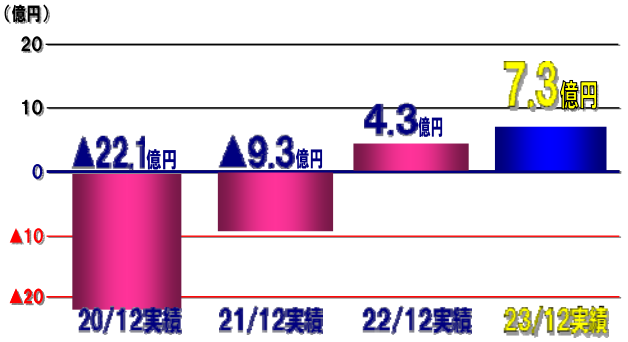
設備投資：H23年計画52億円に対し実績33億円

単体業績

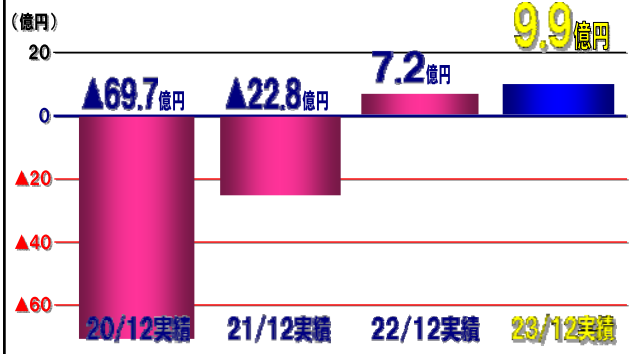
単体営業利益　通期実績



単体経常利益　通期実績



単体当期純利益　通期実績



II. 平成24年12月期の業績予想

平成24年度通期業績予想

マクロ見通し

日本経済は、復興需要はあるものの欧州の債務問題を背景とした世界経済の減速懸念と円高の進行などの影響を受けて、不透明な状況続く。

売 上 高

各部門とも、大きい成長は見込めない。

営業利益

増収効果を震災特需減や電力料値上げが相殺し、建材事業以外は横ばい。

平成24年度通期業績予想

（億円）

	H23実績	H24予想
売　上　高	857	875
営 業 利 益	24.3	26.0
経 常 利 益	21.0	22.5
当期純利益	15.5	15.5

通期業績予想セグメント別　売上高

（億円）

	H23実績	H24予想
合成樹脂事業	511	520
新規材料事業	201	205
建　材　事　業	96	100
その他の事業	48	50
合　　計	857	875

通期業績予想セグメント別　営業利益

（億円）

	H23実績	H24予想
合成樹脂事業	37.8	36.0
新規材料事業	8.4	8.5
建　材　事　業	▲8.5	▲4.0
その他の事業	2.7	3.0
消去又は全社	▲16.1	▲17.5
合　　計	24.3	26.0

業績予想・事業計画に関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。